

## 文献

- 新木敬子, 2008 「<差別の日常>に切り込む人権教育——部落解放・人権大学講座という啓発実践を手がかりに」『部落解放研究』第180号:26-49.
- (社) 部落解放・人権大学講座事務局, 2008 「部落解放・人権大学講座の歩みとプログラムのねらい」『部落解放研究』第180号:11-18.
- (社) 部落解放・人権研究所編, 2007 『人権教育・啓発プログラムの開発に向けて』.
- (社) 部落解放・人権研究所編, 2008 『人権啓発の現状把握と効果検証に向けた指標作成研究事業報告書』大阪人権教育啓発事業推進協議会.
- (社) 部落解放・人権研究所, 2008 『2008年度部落解放・人権大学講座(パンフレット)』.
- Ethan E. Fosse., 2008, THE FUTURE OF HUMAN RIGHTS MEASUREMENT: TOWARDS AN INTERNATIONAL SURVEY OF RIGHTS, *Measurement & Human Rights Program*, The Carr Center for Human Rights Policy HARVARD Kennedy School of Government.
- (財) 行政管理研究センター, 2006 『政策評価ハンドブック——評価新時代の到来』ぎょうせい.
- 福原宏幸編著, 2007 『社会的排除／包摂と社会政策』法律文化社.
- Harry, P., Hatry, 1999, *Performance measurement: Getting Result*, The Urban institute (=上野宏・上野真城子訳, 2004 『政策評価入門——結果重視の業績測定』東洋経済新報社).
- 法務省・文部科学省, 2008 『平成20年版 人権教育・啓発白書』佐伯印刷.
- 井村紘, 2008 「「部落解放・人権大学講座」に関わって」『部落解放研究』第180号:19-25.
- 人権啓発推進リーダー養成のための実践調査等研究事業報告書検討委員会, 2007 『人権啓発推進リーダー養成のための実践調査等研究事業報告書』大阪府.
- 松波めぐみ, 2008 「「人権啓発」の展開に関する一考察——制度化過程と学習内容の変遷に注目して」『大阪大学教育学年報』13号:67-79.
- 元木健, 1988 「啓発の目的と概念」部落解放・人権啓発基本方向作成委員会『部落解放と人権啓発——部落解放・人権啓発基本方向作成委員会報告書』解放出版社:51-63.
- 元木健, 2001 「啓発」部落解放・人権研究所編『部落問題・人権辞典』解放出版社:275.
- 内閣府大臣官房政府広報室, 2007 『人権擁護に関する世論調査』.
- 奥田均, 2006 「「心理的差別の現実」・「忌避意識」及び「積極的態度の形成要因」に関する分析」大阪府『人権問題に関する府民意識調査報告書(調査検討会委員分析)』.
- 大阪府, 2006 『人権問題に関する府民意識調査報告書』.
- 大阪府人権協会, 2006 『人権学習のプログラムづくり』.
- 大阪人権行政推進協議会人権企画・人権啓発に係る専門会議人権企画研究会, 2007 『「人権企画研究会」報告書』総合行政としての人権行政の確立に向けて』.
- Peter Henry Rossi, Mark W. Lipsey, Howard E. Freeman, 2004, *Evaluation: A Systematic Approach 7<sup>th</sup> Edition*, Sage Publication (=大島巖・平岡公一・森俊夫・元永拓郎監訳, 2005 『プログラム評価の理論と方法——システムティックな対人サービス・政策評価の実践ガイド』日本評論社).
- 泉南市人権推進部人権推進課, 2007 『泉南市民人権意識調査報告書』.
- 柴原浩嗣, 2009 「人権学習のプログラムと教材づくり——教材「人権学習シリーズ」の試み」

- 『部落解放研究』第184号:32-48.
- 渋谷秀樹・赤坂正浩, 2000『憲法1』有斐閣アルマ.
- 白谷秀一・朴相権・内田龍史編著, 2009(近刊)『新版 実践はじめての社会調査——テーマ  
選びから報告まで』自治体研究社.
- 鳥取県人権教育調査研究委員会, 2008『人権教育推進のための調査権研究事業報告書』.
- 内田龍史, 2006「部落出身者に対する結婚忌避とその克服に向けて」反差別人権研究所みえ編  
『人権問題に関する三重県民意識調査報告書——詳細分析から見えること』三重県:69-76.
- 内田龍史, 2008「学習効果の検証に向けて」鳥取県人権教育調査研究委員会編『人権教育推進  
のための調査研究事業報告書』128-141.
- 内田龍史, 2008「「分散論」「寝た子を起こすな論」に関する動向と課題」『部落問題に関する  
意識の変遷と啓発の課題』部落解放・人権研究所: 101-110.
- 内田龍史, 2009「生活実態調査」部落解放・人権研究所編『人権年鑑2009』解放出版社: 83-90.
- 上田つよし, 2007「人権教育・啓発プログラムの評価について」部落解放・人権研究所編『人  
権教育・啓発プログラム開発研究報告書』116-120.
- 上田つよし, 2008「人権教育・啓発の効果検証にかかわる指標について」部落解放・人権研究  
所編『人権啓発の現状把握と効果検証に向けた指標作成研究事業報告書』大阪人権教育啓  
発事業推進協議会:69-74.